

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	文学
科目基礎情報						
科目番号	0043		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	先端融合開発専攻		対象学年	専2		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	教員が作成したプリントを配布する。					
担当教員	堅田 陽子					
到達目標						
①日本文学の特質を理解できている。 ②日本の文化、習慣、風土等の特色を理解できている。 ③文学史に関わる術語・重要語について、ほぼ正確に説明できる。 ④変体仮名を読むことができる。 ⑤自分の考えを的確に表現することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本文学の特質を、俳諧に関連づけて正確に理解している。		日本文学の特質を、俳諧に関連づけてほぼ正確に理解している。		日本文学の特質を理解していない。	
評価項目2	日本の文化・習慣・風土の特質を理解している。		日本の文化・習慣・風土の特質をほぼ正確に理解している。		日本の文化・習慣・風土の特質を理解していない。	
評価項目3	文学史に関わる述語・重要語を正確に理解している。		文学史に関わる術語・重要語をほぼ正確に理解している。		文学史に関わる術語・重要語を理解していない。	
評価項目4	変体仮名を用いた崩し字を読むことができる。		変体仮名を用いた崩し字を、ある程度読むことができる。		変体仮名を用いた崩し字を、ある程度読むことができない。	
評価項目5	自分の考えを的確に文章として表現できる。		自分の考えを的確に文章としてある程度表現できる。		自分の考えを的確に表現することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	世界各国の歴史、文化、風土、習慣を理解し、他者・他国の立場を尊重できる、広い視野に基づく倫理的判断力を養うために、その大前提となる自国の歴史・文化・風土に対する理解力を養う。教材としては、近世文学を中心に上げる。印刷技術の発展により出版文化が一般化した近世期には、中古・中世に成立した古典文学を踏まえた作品が多い。近世期における古典文学受容のあり方を学び、近世期の作品を通してさまざまな時代の古典文学についての理解を深めたい。					
授業の進め方・方法	授業は、配付資料と板書を中心に行う。また文学にとどまらず、日本の伝統的文化に関する話題を豊富に提供する予定なので、これらについて日常的に関心を養ってほしい。 英語導入計画：なし					
注意点	(A－1) 80％ (C－1) 20％ JABEE 基準 1 (1) : (a) (f)					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス：近世文学の紹介			
		2週	崩し字読解練習 (A L のレベルB)		崩し字読解に必要な基礎的事項を確認し、影印版テキストを読む。	
		3週	井原西鶴概論 (A L のレベルC)		井原西鶴の関歴について理解する。	
		4週	『西鶴諸国ばなし』概論 (A L のレベルB)		『西鶴諸国ばなし』の成立とその背景について理解する。影印版テキストを読み、崩し字読解も行う。	
		5週	『西鶴諸国ばなし』「大晦日はあはめ算用」読解 (A L のレベルB)		『西鶴諸国ばなし』「大晦日はあはめ算用」について理解する。	
		6週	『好色一代男』概論 (A L のレベルB)		井原西鶴の好色物について理解し、『好色一代男』について理解する。影印版テキストを読み、崩し字読解も行う。	
		7週	『好色一代男』読解 (A L のレベルB)		浮世草子『好色一代男』と『源氏物語』の関わりについて理解する。	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	『源氏物語』近世の享受史 (A L のレベルC)		近世期に『源氏物語』がどのような形で流布していたかを理解する。	
		10週	『源氏物語湖月抄』読解 (A L のレベルB)		『源氏物語』の注釈書である『源氏物語湖月抄』を理解する。	
		11週	『源氏物語』を取り入れた近世文学読解 (A L のレベルB)		近世期の作品のなかで『源氏物語』と深い関わりのあるものについて理解する。	
		12週	松尾芭蕉概論 (A L のレベルC)		松尾芭蕉の関歴について理解する。	
		13週	芭蕉の連句読解 (A L のレベルB)		松尾芭蕉の連句作品について、影印版テキストを読み、理解する。	
		14週	芭蕉の発句読解 (A L のレベルB)		松尾芭蕉の発句作品について、影印版テキストを読み、理解する。	
		15週	総まとめ			
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル
評価割合						
		定期試験		課題	合計	

総合評価割合	0	100	150	250
基礎的能力	0	100	150	250
専門的能力	0	0	0	0